

進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法 大量化学療法 局所療法 その他(維持療法)

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ベバシズマブ (アバステン・BV)	15mg/kg	div	初回90分 2回目以降 60~90分 3回目以降 30~90分	d1
2	オラパリブ (リムパーザ)	600mg	内服	朝・夕	連日

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	21日
総コース数	アバステン:最長15ヶ月/計22サイクル、リムパーザ:2年間
コース間での休薬の規定	<ul style="list-style-type: none"> ・BV 蛋白尿Grade2,3: Grade1に回復するまで休薬 高血圧Grade2,3: 降圧剤を開始しGrade2未満になれば再開 血栓症/塞栓症(静脈系)Grade3: 回復、あるいは抗凝固療法が終了するまで休薬 うっ血性心不全Grade3: Grade1回復するまで休薬 創傷Grade1以上: 完全に治癒するまで休薬 ・リムパーザ 貧血Grade3,4: Hb値\geq9g/dLに回復するまで最大4週間休薬 好中球減少Grade3,4: Grade1以下に回復するまで休薬 血小板減少Grade3,4: Grade1以下に回復するまで最大4週間休薬 上記以外の副作用Grade3,4: Grade1以下に回復するまで休薬

減量規定・中止基準	<p>減量規定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リムパーザ 貧血Grade3,4、好中球減少Grade3,4: 1回目再開の場合、減量せずに投与する。2回目の再開の場合、1回250mgを1日2回で投与する。3回目の再開の場合、1回200mgを1日2回で投与する。 <p>中止基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BV 高血圧Grade3で降圧剤にてコントロールできない場合またGrade4 肺出血、脳出血Grade2以上、その他出血Grade3以上 消化管穿孔または裂孔時 血栓症/塞栓症(静脈系)Grade3以上、血栓症/塞栓症(動脈系)Grade1 タンパク尿Grade4(ネフローゼ症候群) うっ血性心不全Grade4 可逆性後白質性脳症症候群
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレ Medikation・ポスト Medikation	なし

患者条件

- ・BV+化学療法施行後の患者、PS:0-2、主要臓器機能に大きな異常がない、非妊婦、感染症のない患者、MRIにおいて脳出血の所見なし、プラチナ製剤/タキサン製剤とBVによる初回治療が奏功したHRD検査陽性の進行卵巣がん患者

除外規定

- ・重篤な骨髄抑制のある患者や感染症を合併している患者
- ・手術実施日より、28日以内の患者(ただし術式による)
- ・血栓塞栓症合併(既往歴の場合は慎重投与)
- ・喀血(2.5mL以上の鮮血の喀出)の既往のある患者

実施上の注意点

その他(特記事項)

BV: 力価の減弱が生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避ける。